



感震ブレーカー 設置促進事業費補助金



地震対策できていますか？

感震ブレーカーの購入・設置で

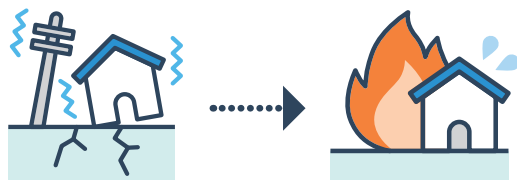
補助額
最大3万円



感震ブレーカーで

地震による火災を防ぐ！

感震ブレーカーは、地震の揺れを感知して自動的に電気を止めることで、電気火災を防ぐ器具です。
主に4種類あり、ご家庭の状況に応じて選べます。



電気火災は地震のあとにも起きる

地震では、停電復旧時の通電が原因で火災が起きることがあります。

感震ブレーカーは、不在時でも自動で電気を止めて火災を防ぎます。

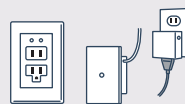
感震ブレーカーの主な種類



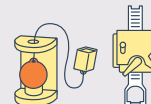
分電盤タイプ(内蔵型)



分電盤タイプ(後付型)



コンセントタイプ

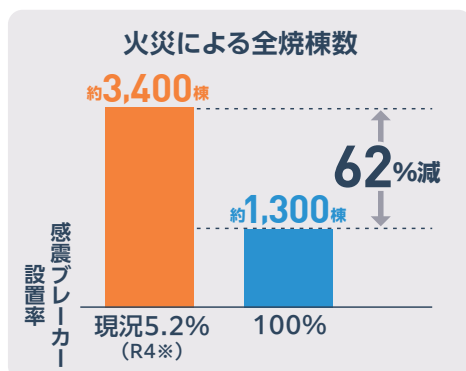
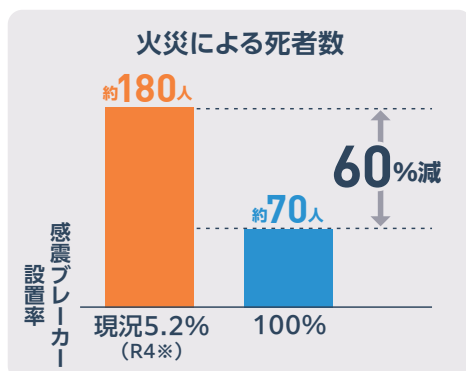


簡易タイプ

感震ブレーカーで命を守る！

火災による死者数、約6割減

令和7年5月に公表した石川県地震被害想定調査結果では、全家庭に感震ブレーカーを設置した場合、火災による死者数・全焼棟数が約6割低減する結果となっています。



※「防災に関する世論調査」(内閣府)



地震被害想定
調査結果の
詳細はこちら

令和7年7月1日受付開始

感震ブレーカーの主な種類

分電盤タイプ(内蔵型)

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

費用：約5～8万円（標準的なもの）
※電気工事が必要



分電盤タイプ(後付型)

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

費用：約2万円
※電気工事が必要



※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能

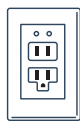
コンセントタイプ

費用：約5千円～2万円程度

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

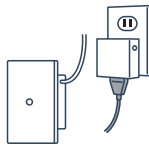
(埋込型)

壁面などに取り付けて使うもの
※電気工事が必要



(タップ型)

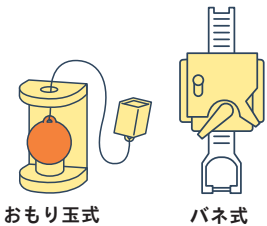
既存のコンセントに差し込んで使うもの
※電気工事が不要



簡易タイプ

費用：約2～4千円程度
※電気工事が不要

重りの落下やばねの作動などによりブレーカーを切って電気を遮断します。



種類	補助率	補助上限額	備考
分電盤タイプ (内蔵型・後付型)	購入・ 設置費用の 2分の1	3万円	「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン(内閣府)」に基づく、感震機能付住宅用分電盤認定制度の認証を受けたもの
コンセントタイプ		3千円	「感震ブレーカー等の性能評価ガイドライン(内閣府)」に基づく、消防防災製品等推奨制度の認証を受けたもの
簡易タイプ			

補助対象者

- ① 県内の戸建て住宅・共同住宅等に居住している方
(各賃貸住宅含む)
- ② 賃貸住宅(戸建て住宅・共同住宅等含む)を所有する方

※新築時の設置も対象

※町内会やマンション管理組合等による一括申請も可能



詳細は県ホームページでご確認ください



<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/bousai/shoubou/kasaiyobou/kanshinbreaker.html>

お問い合わせ先

石川県危機管理部消防保安課 消防グループ

電話 076-225-1481 メールアドレス shobohoan@pref.ishikawa.lg.jp